クラストップの低燃費を誇るハイブリッドセダン、登場

グレイス

コンパクトを超えた室内空間と車格を実現

日刊自動車新聞

発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京（03）5777-2351（代表）

ホンダ
グレイス
特集号

コンパクトセダンの新しい時代を告げるニューモデル、ホンダ・グレイスが登場。5ナンバーサイズながらダイナミックで存在感のあるボディスタイルは風格さえ感じさせ、室内に目を移せばゆったりした広さと落ち着いた雰囲気で乗る人を迎えてくれる。先進のハイブリッドシステムはクラストップの低燃費を誇る一方で、ホンダ車ならではの走る楽しさも忘れてはいない。ハイブリッドセダンではクラス初の4WD車もラインアップし、寒冷地や降雪地でも安心してステアリングを握ることができる。先進の安全性能を備え、最新のコンパクトセダンに欠かせないファクターを満載してさまざまなニーズに応えてくれる。セダンのよさを再確認させてくれる秀逸な一台だ。

使いやすさをカタチにしたデザイン－長尺ものも積みやすく

LEDリアコンビネーションランプ

16インチアルミホイール

ハイブリッドセダンNo.1
34.4km/ℓ
※JC08モード燃費（DX、LXのFF車）

SAMPLE

文／田畑 修（モータージャーナリスト）　写真／奥隅 圭之

GRACE HYBRID EX

豊富な純正アクセサリーで自分だけのグレイスを演出

グレイスのスタイリングや機能をさらに高める純正アクセサリーも豊富に用意されている。上質なクロームメッキの輝きでエクステリアを飾り、大人の気品を感じさせる「エレガントスタイル」、エアロパーツをまとって精悍なスポーティセダンへと変身させる「スポーティスタイル」などのトータルパッケージを設定。さらに車内の雰囲気を盛り上げるLEDイルミネーションや各種LED照明、トランクルームの利便性をより高めてくれるアイテムなども用意されている。障害物を感知して知らせるセンサーやバックソナーは目立たないように取り付けることができ、狭い道などで威力を発揮してくれる。自分だけのグレイスを演出してくれるアクセサリーの充実ぶりが嬉しい。

エレガントスタイル

バンパーガーニッシュ（フロント用）

バンパーガーニッシュ（リア用）

トランクエンドデコレーション

エンブレム
イルミネーション

LEDフォグライト
ビームライトガーニッシュ

トランクストレージ トレイ

フロントセンサーインジケーター

リアセンサーインジケーター

HONDAGRACE 主要諸元表	HYBRID DX		HYBRID LX		HYBRID EX	
駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
トランスミッション	7速オートマチック				7速オートマチック＋パドルシフト	
全長(mm)／全幅(mm)	4,440/1,695					
全高(mm)	1,475	1,500	1,475	1,500	1,475	1,500
ホイールベース(mm)	2,600					
トレッド（前／後）	1,480/1,470				1,475/1,465	1,480/1,470
最低地上高(mm)	135	150	135	150	135	150
車両重量(kg)	1,170	1,240	1,180	1,250	1,200	1,270
乗車定員(名)	5					
客室内寸法　長／幅／高(mm)	2,040/1,430/1,230					
原動機型式	LEB - H1					
エンジン型式	LEB					
エンジン種類	水冷直列４気筒横置					
エンジン総排気量(ℓ)	1,496					
使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン					
燃料タンク容量(ℓ)	40					
エンジン最高出力(kW<PS>/rpm)	81<110>/6,000					
エンジン最大トルク(N·m<kgf·m>/rpm)	134<13.7>/5,000					
電動機（モーター）電動機型式／電動機種類	H1／交流同期電動機					
電動機（モーター）最高出力(kW<PS>/rpm)	22<29.5>/1,313 - 2,000					
電動機（モーター）最大トルク(N·m<kgf·m>/rpm)	160<16.3>/0 - 1,313					
動力用主電池 種類／個数	リチウムイオン電池／48					
JC08モード走行燃料消費率(km/ℓ)	34.4	29.4	34.4	29.4	31.4	29.4
最小回転半径(m)	5.1	5.3	5.1	5.3		
タイヤ（前／後）	185/60R15 84H				185/55R16 83V	185/60R15 84H
ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式（電動パワーステアリング仕様）					
主ブレーキの種類・形式　前／後	油圧式ベンチレーテッドディスク／油圧式リーディング・トレーリング					
サスペンション方式　前	マクファーソン式					
サスペンション方式　後	車軸式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式	車軸式	ド・ディオン式

メーカーオプションを組み合わせ装着した場合、車両重量、燃料消費率は異なります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。

ホワイトオーキッド・パール

アラバスターシルバー・メタリック

ティンテッドシルバー・メタリック

クリスタルブラック・パール

プレミアムディープロッソ・パール

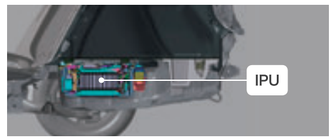
ゴールドブラウン・メタリック

クラス初の4WDセダンで、寒冷地や降雪地も安心のドライビング

独自のHV技術と低燃費

パワートレインはホンダ独自のハイブリッドシステムである「SPORT HYBRID i-DCD」を採用。1.5ℓのDOHC i-VTECエンジンに、高出力モーター内蔵の7速デュアルクラッチトランスミッション（DCT）を組み合わせ、システム最高出力は137psを発揮。DCTがエンジンとモーターの切断・接続を兼ねることでモーターのみのEV走行も可能としており、より回生領域の広い電動サーボブレーキシステムの採用などもあり、ハイブリッドセダンではNo.1のJC08モード34.4km/ℓの低燃費を実現している。ちなみにリチウムイオンバッテリーとパワードライブユニットを一体化したインテリジェント・パワーユニット（IPU）は、より小型化されて後部トランクルーム床下に搭載されている。

システム最高出力は101kW(137PS)



■IPU配置説明図(FF車)

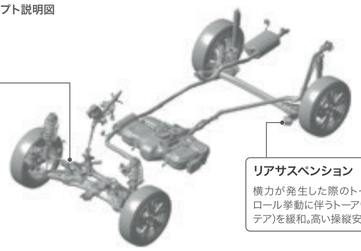
IPUをコンパクト化して床下に収納したことで、トランクスルーを可能にしました。

ボディ、シャシー、静粛性

高いボディ剛性を確保することでコンパクトセダンならではの軽快なハンドリングを実現し、レスポンスのいい走りを満喫できるグレイス。静粛性に関しても抜かりはなく、ノイズの侵入源となるボディの隙間を減らし、遮音材や吸音材を適切に配置。厚めのフロントドアガラスによりザワザワ音を低減し、静かで快適な室内環境を保っている。シャシーに関しては操舵に対するリニアな動きを実現すべく、前下がりのロールセンター高でセッティングされ、キビキビした走りを楽しむことができる。一方で入力分離式ダンパーマウントの採用や、液封タイプのコンプライアンスブッシュをリアに採用し、不快な振動をカット。乗り心地と操縦安定性を両立させている。

■サスペンション設計コンセプト説明図

フロントサスペンション
横力が発生した際にトーアウト量が多くなる設計としました。これにより、コーナリング時に操舵角を若干戻す制御として安定性を向上させながら、ステアリングのギアレシオもクイックに設定。走行の安定感とハンドリングのレスポンスを両立しました。



リアサスペンション
横力が発生した際のトーアウト角を減らし、ロール挙動に伴うトーアウト角変化(ロールステア)を緩和。高い操縦安定感を目指しました。

インテリア

おもてなしの空間を演出するインテリアは、使われるマテリアルの「素材感」を重視。座り心地と肌触りにこだわったシート、柔らかい触感のソフトパッドパネルなど、触れる部分を重視した仕上げが乗る人をもてなしてくれる。一体感のあるインストルメントパネルとセンターパネルは、金属の質感をもった塗装を施し、曲面にもこだわって質感を高めている。センターパネルは高輝度塗装で囲むとともに、運転者側へやや傾けて視認性と操作性を向上。立体感のあるメーターパネルもオーナー心をくすぐる。

乗る人をもてなす後席

心地よさを追求した前席

インテリアを構成するパーツの「素材感」を重視

立体感あるメーターパネル

大容量トランクルーム

パッケージング

コンパクトセダンとは思えない広い室内もグレイスの大きな魅力だ。ロングホイールベースにより室内スペースを確保したのに加え、リアシートを最大限後方に配置し、後席の足元空間を広げたことで歴代ホンダ5ナンバーセダン最大の後席前後間隔を実現。後席に座ったときの広びろ感はミドルセダンに負けていない。さらにリアドア開口幅を広げることで後席の乗り降りを楽にするなど、乗る人に優しい部分も見逃せない。また、後部に積まれるインテリジェント・パワーユニット（IPU）の小型化により、430ℓというトランク容量を確保するとともに、トランクスルーも可能としている。考え抜かれたパッケージングによる利便性の高さにも注目したい。

「高級感」と「スポーティ」が融合したクルマ

エクステリア

リアにかけて流れるような美しいルーフラインがクーペを思わせるグレイスは、各部の造形にこだわってスタイリッシュなセダンに仕上げられている。ホンダのデザイン・アイデンティティである「ソリッド・ウイング・フェイス」を採用したフロントスタイルはワイド感を強調し、プラチナメッキ仕上げのフロントグリルが存在感を高めている。点灯時はもちろん、消灯しているときでも輝きを放つ4灯式ヘッドライトが上質感を醸し出し、HYBRID LXとHYBRID EXにはより視界をクリアにしてくれるLEDヘッドライトを標準装備。リアに回るとキリッと横に並んだリアコンビネーションランプがワイド感を際立たせ、導光タイプのLEDが走り去る姿を強く印象づける。

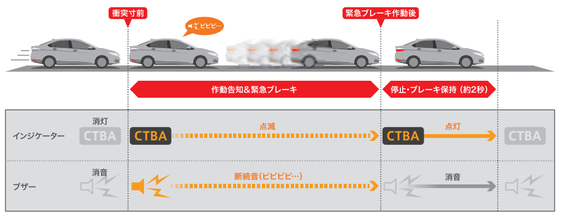
グリルとヘッドライトを一文字に見せる

ワイド感を強調したリアビュー

安心装備

ホンダ独自のGコントロール技術により、グレイスは高い衝突安全性を誇っている。万一の衝突時には衝撃を効率よく吸収してキャビンの乗員を守るとともに、相手のクルマなどのダメージも低減するコンパティビリティ対応ボディを採用。さらに前席エアバッグに加え、車両挙動安定化制御システム（VSA）、エマージェンシーストップシグナルや頚部衝撃緩和フロントシートなどを全車に標準装備している。また、シティブレーキアクティブシステム(低速域衝突軽減ブレーキ+誤発進抑制機能)と前席用i-サイドエアバッグシステム＋サイドカーテンエアバッグシステムをセットにした「あんしんパッケージ」も設定。全方位の安全性能を確保している。

低速域衝突軽減ブレーキ　作動イメージ



快適装備

インターナビ＋リンクアップフリーのカーナビゲーションシステム（メーカーオプション）は静電式タッチパネルを採用し、スマートフォン感覚で操作が可能。広角カメラを用いた3ビュー切替式のリアワイドカメラも後退時の視界をしっかりサポートしてくれる。オーディオはセダンの室内空間に合わせて専門スタッフが音質をチューニング。どの席でも音楽などを存分に楽しめる。後席を素早く適温にしてくれる、センターコンソール背面の後席用エアコンアウトレットもありがたい装備だ。

移動を快適なものとする先進装備

Engineer's Voice

（株）本田技術研究所 四輪R&Dセンター
主任研究員 グレイス 開発責任者
広瀬 敏和さん

まずはダイナミックなスタイルをしっかり見ていただきたいですね。次に室内に乗り込んで、特にリアシートの広さと居心地のよさを実際に感じ取ってください。インテリアに関しても、触る機会の多い部分に柔らかさを感じられる素材を使い、ワンランク上の質感を実現しています。そして試乗なさればコンパクトセダンらしい軽快な走りに加え、段差を乗り越えたときなどの乗り心地が一段とよくなっていることを感じていただけるはずです。

SAMPLE